

こころやカラダに不安があっても

「人のために何かしたい」「役に立ちたい」と
思っている人たちがいる。

晴レルモキッチン 米澤

晴レルモキッチン(就労継続支援事業所)には、
心の病気の方や身体に不安のある方、引きこもり、
難病の方など、様々な悩みを抱えつつも、支援を受けながら、
次なるステップを目指したり、人とのつながりや
居場所・生きがいを求めている方々が通ってきています。

現代、若い世代も年配者も生活（時間）や 気持ちのゆとりがない？

20代～独身者は町内会の仕組みがわからない？ 町内会費が負担？

30代40代の子育て世代～働く女性の増大・仕事と子育ての両立の負担
経済的不安定など

60代以降～定年後も就労する方が増大。老々介護など。



地域とのつながりや、町内会は必要と感じているけれど、
参加することが難しい家庭が増えている中で、どうすれば良いのか！



町内会の負担になっている業務を他に委託する。

例えば、地域とつながりたい人たちが、
町内会の負担となっている仕事の一部を
受託。(市や町内から委託)

(町内清掃活動、ごみステーションの管理、町内会
費の徴収、行事の企画・準備、回覧板の文書作成、
町内会の相談窓口、災害時の困りごと窓口など)



町内会に拠点ができることで、さらに人と人とがつながり、みんなが
安心して過ごすことが出来る。

晴レルモキッチンのこれまでの活動

- ☆町内会清掃(定期)☆高齢宅におにぎりの配達。
- ☆高齢住宅の雪投げ・ゴミ出し・冬囲い(有料)
- ☆地域の方と一緒に「てまひまクラブ」(ものづくり)開催。
- ☆晴レルモキッチン感謝祭～店舗前駐車場にて
(地域の方へおにぎりの無料提供100個・
ヨーヨー釣り、野菜の格安販売・雑貨販売など)
約90名の来客。
- ☆胆振東部震災時、店舗前にて、やきとり・カレーライスの炊き出し(通所者と職員、地域の方と一緒に)

つながりがなぜ大切？

- 人とのつながりが広がることにより、
社会から孤立したり、孤独な人が減少する。
 - 社会問題となっている「8050問題」引きこもり(100万人以上)
核家族による孤独な子育て・震災時の不安などの解消。
- ☆イギリスでは、2018年に、世界で初めて、
「孤独問題担当国務大臣」を政府が設置。
- ⇒高齢者(65歳以上)の4割が「テレビが一番の友達」
その後、対策が取られ、高齢者の生きがいの場(ものづくり)が
500か所と広がっている。(人のために自分のために)